

## 「今年期待の造園人」のご紹介

## 2020年 今年期待の造園人

	お名前	業 績 等	勤務先（所在地）
1	青江 勇二 (あおえ ゆうじ)	青江 勇二氏は、一般社団法人日本造園組合連合会青年部の部長として、技術技能の向上事業、広報活動等を全国規模で展開し、業界の活性化に貢献している。2018年全国都市緑化やまぐちフェアに同連合会青年部として庭園「未来へつなぐ長州の庭」を出展し国土交通大臣賞を受賞、2019年には全国軽トラガーデンコンテストを開催するなど、青江氏が中核となって様々な事業を実施しており、造園施工業の担い手として活躍が期待される。 (E-mail: y.aoe@ad.wakwak.com)	株式会社青江造園土木 (岡山県倉敷市)
2	小野 晶大 (おの あつひろ)	小野 晶大氏は、造園の世界が広がりを見せる中、大学在学中に生物多様性の世の中の到来を察知し、国土交通省に入省。宮城県石巻市「石巻南浜津波復興祈念公園」整備に取り組んだほか、多様化する自然災害の台風・豪雨災害の対策に寄与する都市公園の可能性の研究、安全・安心で持続可能な国土形成の課題への対応、自然環境の機能を活用したグリーンインフラの推進に取り組むなど、国土政策の展開に活躍が期待される20歳代の造園人である。	国土交通省国土政策局 離島振興課 (東京都千代田区)
3	立松 俊和 (たてまつ としかず)	立松 俊和氏は、これまで視覚・聴覚などに依存していた野生生物の調査方法に対し、ドローンによる実写撮影や鳴き声の音声分析を駆使した同定分析など、情報通信技術を活用し生物モニタリング技術を応用した調査の精度向上と信頼性の確保に多大な貢献を果たしてきた。その成果「情報通信技術を活用した生物モニタリング」は、令和元年7月「第2回 一般社団法人 自然環境共生技術協会 会長賞」を受賞するなど、ランドスケープ技術の開発等に取り組む20歳代の造園人として活躍が期待される。 (E-mail: toshikazu.tatematsu@tk.pacific.co.jp)	パシフィックコンサル タツ株式会社 北海道支社 (札幌市北区)
4	八色 宏昌 (やいろ ひろまさ)	八色 宏昌氏は、造園設計事務所を主宰するほか、ランドスケープコンサルタツ協会のR L A資格制度総合管理委員、日本造園学会の生態工学研究推進委員、造園CPD推進委員等を歴任するとともに、氏が設計した「伊勢志摩国立公園横山展望台再整備」業務は2019年ランドスケープコンサルタツ協会賞(C L A賞)の設計部門において優秀賞を受賞しており、造園界を牽引するランドスケープアーキテクトとして期待される。	景域計画株式会社 (横浜市中区)
5	和田 貴子 (わだ たかこ)	和田 貴子氏は、「京都府立けいはんな記念公園」の指定管理業務の立ち上げから参加し、同公園において行政、地域団体との連携、市民との協働により様々なイベントを実施する等、同公園の指定管理者としての管理運営の基礎を築いた。現在は、東本願寺、南禅寺、金戒光明寺などの京都の名園や森林を中心に庭園文化・自然文化を伝える活動を行う等ランドスケープマネジメントの旗手として活躍が期待される。 (E-mail: shizen@ueyakato.co.jp)	植彌加藤造園株式会社 (京都市左京区)

2021年 今年期待の造園人

	お名前	業 績 等	勤務先（所在地）
1	<p>稲葉 篤 (いなば あつし)</p>	<p>稲葉 篤氏は、深川・木場地域に誕生したオフィス・商業複合施設「深川ギャザリア」を竣工後約10年間管理し、「日々の観察と他の専門家とも協働した適切な手入れが空間の評価を高め、管理レベルも高まる」という相乗効果を具体的に示す管理業務として高く評価されている。この成果は「ガーデンコート」、「センタープラザ」を中心にした「イベントゾーン」において「花の専門家との協同による演出」、「廃材を利用した寄せ植え」、「企業プロモーションによる花のハンギング」、子供が自由に絵本を楽しめる「お庭図書館」の設置等により、2020年一造会大賞（最優秀賞）「深川ギャザリア・ガーデンコートにおける管理業務とイベント会場の彩り」を代表者として受賞するなど、造園管理において今後活躍が期待できる造園人である。</p>	<p>富士植木株式会社  (東京都千代田区)</p>
2	<p>高沖 哉 (たかおき はじめ)</p>	<p>高沖 哉氏は、造園設計事務所を主宰し、2015年「天王寺公園“てんしば”（大阪市天王寺区）」において計画・設計グループの一員として、官民連携のパークマネジメント事業として先駆的な取り組みを行い（2016年グッドデザイン金賞）、2016年「清涼院樹林墓苑（宮城県気仙沼市）」においては共同デザイナーとして、海への眺望を活かし、墓苑とすることで植生回復を促す風景墓苑の計画・設計（2018年グッドデザイン賞）を行うなど、従来のランドスケープの活動を広げた領域で、新しい発想による意欲的な作品づくりを目指し、今後活躍が期待できる造園人である。</p>	<p>株式会社ヒュマス  (東京都国分寺市)</p>
3	<p>森田 緑 (もりた みどり)</p>	<p>森田 緑氏は2010年造園設計事務所に入社し、「動植物園設計・研究センター」に配属され、全国の動植物園における計画・設計を担当し、宮城県仙台市の八木山動物公園ふれあいの丘における基本・実施設計は代表作のひとつである。 その後、2011年東日本大震災の被災地に設置した「高田松原津波復興祈念公園 国営追悼・祈念施設」の基本設計・実施設計グループの一員として、2020年ランドスケープコンサルタンツ協会賞（CLA賞）の設計部門において最優秀賞を受賞している。 次世代の造園設計界において、今後活躍が期待できる造園人である。</p>	<p>株式会社プレック  (東京都千代田区)</p>